

UNICAS

緑地管理・芝生用除草剤

# A アトラクティブ®

アトラクティブ®は米国デュポン社の登録商標です。

- 有効成分／クロリムロンエチル 25%
- 包装／150g×6袋

その「魅力」は「緑地管理」にも

ATTRA  
ACTIVE

## 魅力的な! 特長

### ■ とても長く、安定した残効性

水溶解度が低く土壌吸着が強いため広葉雑草に対して長い残効性を有します。

### ■ 卓越した適期幅

緑地帯では広葉雑草の発生前から生育初期処理まで極めて安定した効果を発揮します。  
(芝地では雑草発生前から生育期まで効果を発揮します)

### ■ 日本芝に対する高い安全性

春期、秋期の芝生育期に使用できます。また、萌芽期にも使用できます。  
根系やランナーの伸長(ターフの形成)にもほとんど影響がありません。

### ■ 使い易い顆粒製剤

薬剤調製時の粉立ちが少なく、溶けやすい顆粒水和剤です。  
また使用薬量も0.02~0.08 g/m<sup>2</sup>と比較的少ない薬剤です。  
※緑地場面での推奨薬量は、0.06 g/m<sup>2</sup>です。

### ■ 温度に左右されない効果

効果の発現に温度の影響を受けにくい特性を持っていることから、晩秋、早春に発生する雑草にも高い効果を発揮します。

## 登録内容

作物名	適用場所	適用雑草名	使用時期	使用量		本剤の使用回数	使用方法	クロリムロンエチルを含む農薬の総使用回数
				薬量	希釈水量			
日本芝	—	一年生及び多年生広葉雑草	雑草発生前~生育期	0.02~0.04g/m <sup>2</sup>	200ml/m <sup>2</sup>	3回以内	雑草茎葉散布又は全面土壌散布	3回以内
樹木等	公園、庭園、堤とう、駐車場、道路、運動場、宅地、のり面、鉄道等	雑草発生前~生育初期	0.04~0.08g/m <sup>2</sup>	100~200ml/m <sup>2</sup>	植栽地を除く樹木等の周辺地に雑草茎葉散布又は全面土壌散布			

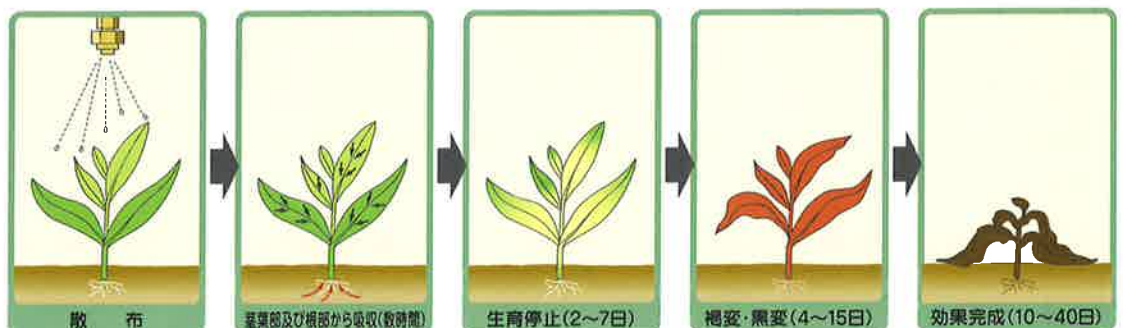
※ 本表に作物名「樹木等」と記載していますが、本剤は直接樹木等に使用するものではありません。  
本表の使用方法、注意事項に従って、樹木等に影響を与えないよう注意してください。

## 安全性

製剤毒性	人畜毒性	経口	ラット ♂♀	LD <sub>50</sub> > 5,000mg/kg
		経口	マウス ♂♀	LD <sub>50</sub> > 5,000mg/kg
		経皮	ラット ♂♀	LD <sub>50</sub> > 2,000mg/kg
魚毒性	コイ	LC <sub>50</sub> > 1,000ppm (96hr)		
	ミジンコ	LC <sub>50</sub> > 1,000ppm (48hr)		

## 効果の流れ

アトラクティブは雑草の茎葉部及び根部から吸収され、細胞分裂を阻害することにより生育を停止させます。その後、雑草は徐々に褐変あるいは黒変し、効果が完成します(アセトラクテート合成酵素阻害)。



**効果のある雑草(緑地帯)**



ヨモギ



セイタカアワダチソウ



オオアレチノギク

**効果的な使用時期(緑地帯)**

● 広葉雑草



**効果事例(緑地帯)**

**緑地におけるアトラクティブの効果事例**

処理日:2010年5月13日(生育初期) 調査日:2010年6月17日(35日後)  
 その他条件:水量 200mL/m<sup>2</sup> サーファクタントWK 1000倍加用



アトラクティブ 0.04g/m<sup>2</sup>

無処理

**軌道敷周り等におけるアトラクティブの効果事例**

処理日:2014年6月16日(生育期) 調査日:2014年8月21日(66日後)  
 その他条件:水量 100mL/m<sup>2</sup> サーファクタントWK 1000倍加用



グリホサート剤 +アトラクティブ0.04g/m<sup>2</sup>



グリホサート剤のみ

生育初期の散布でヨモギに高い効果を優します。

アトラクティブを加用する事で多年生広葉雑草に対する効果が安定し、その後の広葉雑草の発生も抑えます。

**殺草スペクトラム表**

雑草名	科	発生前	生育初期
メマツヨイグサ	アカバナ科	●	●
タネツケバナ	アブラナ科	●	●
ナズナ	アブラナ科	●	●
オオバコ	オオバコ科	●	●
カタバミ	カタバミ科	●	△～◎
ハマスゲ	カヤツリグサ科	△	○
ヒメクグ	カヤツリグサ科	●	●
アキノノゲシ	キク科	●	◎～●
オオアレチノギク	キク科	●	●
セイタカアワダチソウ	キク科	●	◎～●
セイヨウタンポポ	キク科	●	●
トキンソウ	キク科	●	●
ノゲシ	キク科	●	●
ハキダメギク	キク科	●	●
ハルジョオン	キク科	●	●
ヒメジオン	キク科	●	●
ヒメムカシヨモギ	キク科	●	●

雑草名	科	発生前	生育初期
ブタクサ	キク科	●	●
ヨモギ	キク科	●	●
オオイヌノフグリ	ゴマノハグサ科	◎～●	◎～●
タチイヌノフグリ	ゴマノハグサ科	○～●	○～●
ヒメオドリコソウ	シソ科	●	●
ホトケノザ	シソ科	●	●
スベリヒユ	スベリヒユ科	●	●
ギシギシ	タデ科	●	●
エノキグサ	トウダイグサ科	●	●
コニシキソウ	トウダイグサ科	◎	○～◎
イヌホオズキ	ナス科	×～○	△
ツメクサ	ナデシコ科	●	●
ノミノフスマ	ナデシコ科	●	●
コヒルガオ	ヒルガオ科	×～△	●
ヤブガラシ	ブドウ科	○	●
カラスノエンドウ	マメ科	●	●
シロツメクサ	マメ科	●	●

(公財)日本植物調節剤研究会委託試験及び社内試験より

効果: ●極大 ◎大 ○中 △小 ×効果なし

## 効果のある雑草(芝地)



ヒメクグ



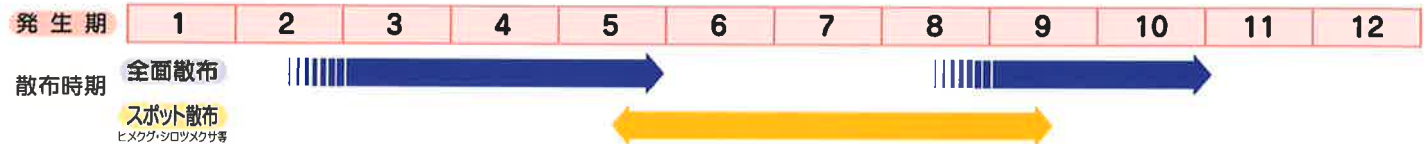
シロツメクサ



カラスノエンドウ

## 効果的な使用時期(芝地)

### ● 広葉雑草



## 効果事例(芝地)

- 試験場所  
埼玉県Aゴルフ場
- 試験概要  
薬量:0.03g 水量:200mℓ/m<sup>2</sup>、  
サーファクタントWK1,000倍  
2006年10月26日処理  
オオイヌノフグリ、  
オランダミナグサ、ハルジオン、  
ヒメジョオン  
生育初期に散布  
2007年4月9日調査  
(処理後165日)  
広葉雑草の発生が見られない



アトラクティブ 0.03g/m<sup>2</sup>



無処理

## ⚠ 使用上の注意

- 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきってください。
- 本剤とアルカリ性の肥料、農薬などの化学物質とは混用しないでください。
- 本剤はイネ科雑草に対して効果が劣るので、イネ科雑草優占圃場ではこれに有効な処理剤との体系で使用してください。
- 散布液の飛散や流出によって、周辺作物に影響を及ぼすので十分に注意して散布してください。
- 降雨が予想される場合は、使用をさけてください。
- 本剤は遅効性で温暖期においても雑草が完全に枯れるまで30～40日程度かかるので、誤ってまき直しなどしないよう注意してください。
- 水源池等に本剤が飛散、流入しないよう十分に注意してください。
- 薬剤散布後は散布器具やホース内に薬液が残らないように十分に洗浄してください。
- 散布器具、容器の洗浄水は河川等に流さず、環境に影響を与えないよう適切に処理してください。
- 使用に当たっては使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は病害虫防除所等関係機関の指導を受けることをおすすめします。
- 本剤は眼に対して弱い刺激性があるので眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗してください。
- 公園等で使用する場合には、散布中及び散布後(少なくとも散布当日)に小児や散布に関係のない者が散布区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払ってください。
- 使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきってください。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。
- 直射日光を避け、食品と区別して、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管してください。

● 使用前にはラベルをよく読んでください。● ラベルの記載以外には使用しないでください。● 本剤は小児の手の届くところには置かないでください。

ユニカスは日本ジュニアゴルフアソシエーション(JGC)を応援しています。

### ■ お求めは…

### ■ 販売

**MBC** 丸和バイオケミカル株式会社  
ユニカス事業部

- 本社 / 〒101-0041 東京都千代田区神田須田町2-5-2  
☎03-5296-2340 <http://www.mbc-g.co.jp>
- 札幌 / ☎011-222-2305 ■ 仙台 / ☎022-261-1319
- 名古屋 / ☎052-951-7235 ■ 大阪 / ☎06-6484-7222
- 福岡 / ☎092-712-8330

お問い合わせ窓口 / ☎03-5962-9731 (平日9:00～17:00祝祭日を除く)